

参加費
無料

報酬制度・企業年金セミナーのご案内

～インフレ下の報酬制度と退職給付制度～

2022年前半から物価上昇が始まり、2023年は3%(CPI総合指数、前年同月比)を超える上昇が続いており、約30年間続いたデフレも終焉した感があります。今回のインフレは原材料価格の高騰から始まりましたが、人手不足も相まって賃金上昇も継続する可能性が高く、報酬制度に及ぼす影響も大きくなっています。

今回のセミナーでは、今後の報酬戦略、資産運用戦略の参考となることを目指し、著名な講師陣をお招きしてインフレ下における報酬制度や企業年金の資産運用についても、分かり易く解説します。

人事部門、企業年金の責任者、担当の皆様のご参加をお待ちしています。

2024年3月13日(水)13:25~16:30 コンファレンススクエアエムプラス(丸の内)

本セミナーは一般企業・年金基金を対象としておりますので、金融機関・コンサルティング会社等の方はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

13:25	開会のご挨拶	
13:30~14:25	令和のインフレ下における報酬制度の考え方	山本 紳也
	久々のインフレ下、多くの若手はベアという言葉すら知らない。一方、ビジネス競争環境は益々厳しくなる中、今後70歳までの雇用が当たり前になり、会社には人件費マネジメントに益々のプレッシャーがかかることは明らか。多くの会社で模索の始まったジョブ型の考え方を含め、これからの報酬制度を考える。	
14:25~14:30	休憩	
14:30~15:25	退職給付制度におけるインフレへの対応	黒田 英樹
	退職給付制度にはその設計上インフレに自動的に連動するものとそうでないものがある。ポイント制に代表される多くの制度ではインフレに自動対応はしていないものの、対応していかなくは制度の目的は損なわれししまう。ここでは、インフレ下の退職給付制度の見直しについて企業年金も含めて解説する。	
15:25~15:30	休憩	
15:30~16:25	インフレに適応した年金資産運用とは	石田 英和
	年金資産運用の考え方は10年単位で変わります。今主流になっている運用(「運用しない運用」)はデフレや超低金利の時代に合わせて発達してきましたが、インフレが戻ってくればまた違う運用が最適になります。そのためには、2%程度に低下してしまった運用目標を4%から5%に引上げなくてはなりません。これは容易い課題ではありませんが、いくつかの作戦を一緒に考えてみましょう。	
16:25~16:30	閉会のご挨拶 質疑応答、個別相談	

● 講師プロフィール

山本 紳也 (株式会社HRファープラ 代表取締役)

慶應義塾大学理工学部 管理工学科卒、イリノイ大学経営学修士課程修了(MBA)。エプソン(現セイコーエプソン株式会社)、外資系コンサルティング会社に勤務後、1999年から2014年まで15年間、PwCジャパンにおいてパートナーとして人事・チェンジマネジメント部門をリード。その後、独立、株式会社HRファープラを設立。

著書に、「ジョブ型vsメンバーシップ型」(共著、中央経済社)、「外国人と働いて結果を出す人の条件」(幻冬舎)、「人事の本気が会社を変える」(経営書院)、「新任マネジャーの行動学」(経団連出版)などがある。他に、組織人事に関わる論文・講演は、国内外において多数。

黒田 英樹 (JPアクチュアリーコンサルティング株式会社 代表取締役 年金数理人・日本アクチュアリー会正会員)

慶應義塾大学理工学部 数理科学科卒

1985年、大和銀行(現りそな銀行)に入社。年金信託部において一貫して適格年金・厚生年金基金の数理業務を担当し、数多くの年金制度設計や指定年金数理人業務を行う。プライスウォーターハウス・クーパーズに移籍し、年金コンサルティングを手掛けた後、2000年にJPアクチュアリーコンサルティングを設立し現在に至る。元モルガンスタンレーアセットマネジメント顧問。

著書(共著)に「リスク回避の企業年金設計」(中央経済社)、「確定拠出年金ハンドブック」(ポプラ社)など

石田 英和 (システム2株式会社 代表取締役 年金ガバナンスアドバイザー)

レオス・キャピタルワークス顧問。FinCity.Tokyo(東京国際金融機構)EMPスペシャルアドバイザー。1990年大阪ガス入社。1995年スタンフォード大学MBA修了。大阪ガス企業年金のインベストメントオフィサーとして年金資産運用を担当。2016年3月同社を退社後、システム2を設立。2020年京都大学経営管理大学院教育部後期博士課程修了。京都大学博士(経営科学)。

主な共訳書に、『イェール大学流投資戦略』(デビッド・スウェンセン著、パンローリング、2021年)がある。

セミナーお申込み方法

FAX ・ ・ 必要事項をご記入の上、03-3217-4401 までお送りください。
Web ・ ・ <https://www.jpac.co.jp/service/seminar-entry.html> よりお申込下さい。

2024年3月13日(水) コンファレンススクエア エムプラス ミドル1

貴社名			
ご住所	〒		
電話番号		M a i l	
部署・役職		部署・役職	
(フリガナ) お名前		(フリガナ) お名前	

●差し支えなければ以下のアンケートにご回答ください

従業員数	人
貴社退職給付制度	<input type="checkbox"/> 退職一時金 <input type="checkbox"/> 確定給付企業年金 <input type="checkbox"/> 確定拠出年金 <input type="checkbox"/> 中小企業退職金共済 <input type="checkbox"/> 厚生年金基金 <input type="checkbox"/> その他 ()

【注意事項】

※本セミナーは一般企業・年金基金を対象としておりますので、金融機関・コンサルティング会社等の方はご遠慮いただいております。
※定員となり次第、締め切らせて頂きます。お早めにお申し込み下さい。
※なお受講票の発行は省略させていただいておりますので、当日は受付にてお名刺のご提示をお願いいたします。
※本書面によりご提供頂いた情報は、弊社の個人情報保護方針に基づいて取り扱わせていただきます。
詳しくは、弊社ホームページ (<https://www.jpac.co.jp/privacy/index.html>) でご確認の上、個人情報取り扱いに関する同意の有無をお知らせ下さい。

同意します。 同意しません。

なお、個人情報の取得および利用はセミナー参加申込みを適切に受付を行い管理をするためを目的とし、弊社個人情報保護方針の下に適切に管理運営いたします。また、今後DMを希望しない旨にはお手数ですが弊社までご連絡ください。

会場案内図



【会社案内】

JPアクチュアリーコンサルティング株式会社は、退職金、企業年金、確定拠出年金の制度設計や年金ALM、退職給付債務評価(PBO計算)、IFRS、US-GAAP等の計算、退職給付に係るM&Aアドバイザリーを行うコンサルティングファームです。
上場企業から数十人規模の企業、外資系まで、895社*を超えるあらゆる規模・業種の企業のサポートをさせていただいております。(*2023年3月末現在)

事業内容

- 退職給付債務(PBO)等の評価
- 退職給付制度の設計・再構築・運営支援
- 退職給付に係るM&Aアドバイザリー
- 年金財政・数理計算
- 中小企業の為の退職給付制度設計・再構築コンサルティング
- ストックオプションの公正価値評価
- 人事制度設計・デューデリジェンス
- 顧問サービスなど

日時：2024年3月13日(水) 13:25～16:30
開場：コンファレンススクエア エムプラス ミドル1
住所：東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル10F